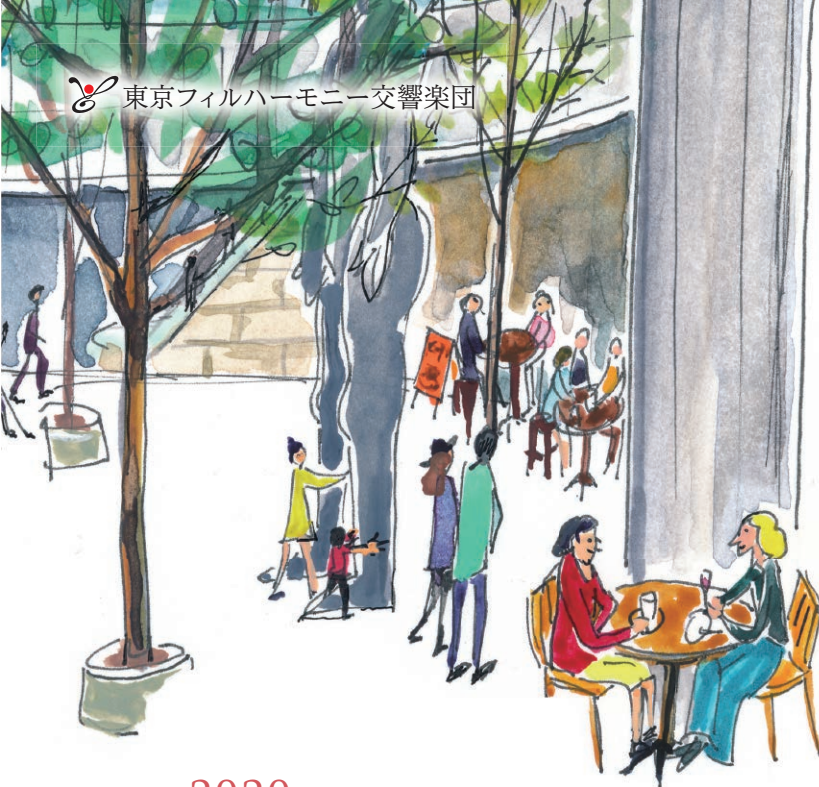




2020
東京フィルの

午後のコンサート。

第20回 平日の午後のコンサート
2020.10.14(水)14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

第86回 休日の午後のコンサート
2020.11.22(日)14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

第8回 渋谷の午後のコンサート
2020.11.25(水)12:00公演／15:00公演
Bunkamura オーチャードホール



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
ホールに満ちるオーケストラの響きを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

第20回 平日の午後のコンサート。

10.14(水) 14:00 開演 東京オペラシティ コンサートホール
Wed. Oct 14, 2020, 14:00 Start at Tokyo Opera City Concert Hall

<夢見る頃を過ぎても> “When I Grow Too Old to Dream”

指揮とお話 角田鋼亮 Kosuke Tsunoda, conductor & speaker

ヴァイオリン 前橋汀子* Teiko Maehashi, violin

コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

ワーグナー：楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より
第1幕への前奏曲(約10分)

Wagner: Prelude to Act 1 from opera "Die Meistersinger von Nurnberg" WWV 96 (ca. 10 min)

エルガー：愛の挨拶 Op. 12* (約3分)

Elger: Salut d'amour, Op. 12 (ca. 3 min)

マスネ：タイスの瞑想曲* (約5分)

Massenet: Meditation from opera "Thais" (ca. 5 min)

サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン Op. 20* (約8分)

Sarasate: Zigeunerweisen, Op. 20 (ca. 8 min)

ウェーバー：歌劇『魔弾の射手』序曲(約10分)

Weber: Overture from opera "Der Freischutz" Op. 77 (J.277) (ca. 10 min)

ワーグナー：歌劇『タンホイザー』序曲(約15分)

Wagner: Overture from opera "Tannhäuser" WWV 70 (ca. 15 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人 日本芸術文化振興会

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council



※本公演においては公演中もご入退場いただけます。再入場・途中入場の際には入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※お帰り際には、<ご来場者のご氏名・ご住所・電話連絡先>をご記入いただいた入場券がきをロビーの回収箱に投函してお帰りください。ご協力をお願い申し上げます。

- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please write your name/address/phone number in the permission post card, and post it in the collection box in the lobby before you leave the concert. We would sincerely appreciate your cooperation.

出演者プロフィール

指揮とお話 角田鋼亮

Kosuke Tsunoda, conductor & speaker

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演。

2016年第11回名古屋ベンクラブ音楽賞、2019年愛知県芸術文化選奨文化新人賞、2020年名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞を受賞。

現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団および仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。

<http://kosuketsunoda.com>



©Hikaru Hoshi

ヴァイオリン 前橋汀子

Teiko Maehashi, violin

2017年に演奏活動55周年を迎えた前橋汀子は、日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味あふれる演奏で、多くの聴衆を魅了し続けている。これまでにベルリン・フィルを始めとする世界一流の多くのアーティストとの共演を重ねてきた。近年、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを全国各地で展開。一方、バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」全曲演奏会や、2014年からは原田禎夫（チェロ）、久保田巧（ヴァイオリン）、川本嘉子（ヴィオラ）と共に弦楽四重奏の演奏会を行うなど、室内楽にも意欲的に取り組んでいる。最新CDは自身2度目の録音となる「バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全集」が2019年8月に発売。著書「私のヴァイオリン 前橋汀子回想録」が早川書房より出版。

2004年日本芸術院賞、2007年第37回エクソンモービル（現・JXTG音楽賞）音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2011年春に紫綬褒章、2017年春に旭日小綬章を受章。

使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・グアルネリウス。



©篠山紀信

プログラム・ノート

解説＝柴田 克彦

ロマンティックな音楽の数々で夢見るひとときを

今回の「平日の午後のコンサート」のテーマは〈夢見る頃を過ぎても〉。これを聞くと、「夢見る頃を過ぎても、夢を見続けていこう」といった言葉がまず浮かびますが、抱くイメージは人それぞれかもしれません。ともあれ本日のプログラムには、「夢見る頃も、それを過ぎても」聴く人の心を酔わせてくれるロマンティックな作品が並んでいます。

とりわけ注目されるのが、最前線の演奏家としての長いキャリアを通じて「皆に夢を与え続けている」前橋汀子が弾く3つの小品。ヴァイオリン音楽の中では最上位のポピュラー名曲にして彼女の代名詞ともいえるこれらの作品を、まとめてオーケストラのバックで聴くのは、まさに「ドリーミー」なひとときです。

そして、「夢見る頃」をベルリンで過ごした俊英・角田鋼亮が紡ぐドイツ・ロマン派オペラの序曲や前奏曲も然り。現地の空気を知る実力派が豊かな音楽をたっぷりと奏で、「オーケストラ・ドリーム」に浸らせてくれます。



俊英・角田鋼亮がロマンティックな名曲の数々をお届けします

©Hikaru Hoshi

ワーグナーの壮麗で祝典的な前奏曲からスタート

幕開けは、ドイツ・ロマン派オペラの巨人リヒャルト・ワーグナー(1813-1883)の楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より第1幕への前奏曲。楽劇自体は、1867年



に完成され、翌年ミュンヘンで初演された円熟期の大作です。「マイスタージンガー」とは、中世ドイツにおける、「歌手=ジンガー」の能力を備えた「職人の親方=マイスター」のこと。当時の親方は技術のみならず歌の自作及び歌唱能力が求められたことに拠る物語です。全3幕の本編は、「靴屋の親方ザックスが、金細工師の親方の娘エヴァに恋する騎士ヴァルターを助け、歌合戦に勝たせてエヴァを獲得させる」といったお話。ワーグナーの主要作の中で唯一喜劇的な要素を持つと同時に、ドイツの精神を賛美する内容となっています。

第1幕への前奏曲は、劇中の動機を多数用いて構成された、壮麗で祝典的な音楽です。全合奏の「マイスタージンガーの動機」で始まり、柔和な「愛の情景の動機」、明るい「行進の動機」など様々な動機が現れた後、「愛の動機」に始まる優美な部分に移ります。やがて冒頭の動機が戻り、複数の動機が交錯しながら高揚。「行進の動機」を中心とした華やかな終盤を迎えます。

前橋汀子が奏でるヴァイオリンの有名小品

ここからはヴァイオリンの有名小品が続きます。まずは、近代イギリス音楽の父エドワード・エルガー(1857-1934)の「愛の挨拶」。エルガーの作品の中では、行進曲『威風堂々』



と並んでポピュラーな1曲です。オリジナルは、1888年、妻キャロラインとの婚約を記念して彼女に贈ったとされるピアノ曲ですが、オーケストラ版やヴァイオリン版でより人気を高めました。曲は、いかにも愛情のこもった、優しく温かな音楽。シンプルなメロディは例えようもなくチャーミングです。

おつぎは、フランス・ロマン派オペラの代表格ジュール・マスネ(1842-1912)の「タイスの瞑想曲」。ヴァイオリンの小品としておなじみの曲ですが、本来は1894年に初演された歌劇『タイス』の第2幕で演奏される間奏曲です。全2



幕の本編は、「悦楽の生活にふける古代エジプトの遊女タイスが、若く敬虔な修道僧アタナエルの教えて信仰に目覚め、アタナエルの方は逆にタイスに惹かれて堕ちていく」といった物語。2人の立場が入れ替わるあたりで奏される「瞑想曲」は、信仰の道に進むタイスの心の変化を表わした清澄な音楽です。分散和音に乗ってヴァイオリンの甘美なメロディが流れ、中間部で熱気を加えた後、静かに消えていきます。

ヴァイオリン小品の最後は、スペイン生まれのヴァイオリニスト兼作曲家**パブロ・デ・サラサーテ** (1844-1908) の「**ツイゴイネルワイゼン**」。歴史的な名奏者だったサラサーテは、自身が弾くための小品を数多く残しました。その代表曲が1878年に出版された本作です。ドイツ語で「ジブシーの歌」を意味するタイトル通りの野趣と哀感に充ちた音楽で、以下の3つの部分が続けて演奏されます。



第1部：モデラートーレント。憂いに充ちた旋律が、技巧的な動きをまじえながら、たつぷりと奏されます。**第2部：ウン・ポーコ・ピウ・レント**。甘く切ない歌がしっとりと流れます。**第3部：アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ**。超絶技巧が耳を奪う情熱的な終結部です。

ウェーバーの傑作オペラから内容を凝縮した劇的な序曲

続いては、ドイツ・ロマン派の先駆者**カール・マリア・フォン・ウェーバー** (1786-1826) の歌劇『**魔弾の射手**』序曲。

歌劇自体は1821年に完成され、ベルリンにおける初演で圧倒的な成功を収めました。全3幕の本編は、1650年頃のボヘミア（現在はチェコだが、当時はドイツの支配下）の森に囲まれた農村を舞台にした物語。「若い猟師マックスは、恋人アガーテと結婚するために射撃大会での優勝を余儀なくされる。銃の腕が不調の彼は、悪魔に魂を売ったカスパールにそそのかされて狼谷に行き、必ず当たるという魔の弾丸を入手。大会でこれが露見したマックスは窮地に陥るが、アガーテの純愛に救われる」といったお話です。ドイツの民話に基づく題材と、ゲルマン人の民族的風土である森を背景にもつ本作は、「ドイツ初の国民オペラ」と称され



て同国ロマン主義オペラの第一歩を刻み、ワーグナーへの道を開きました。

序曲は、本編の内容を凝縮した劇的な音楽で、クラリネットの活躍が際立っています。まずはアダージョの序奏。深い森が描写され、4本のホルンによる有名な旋律が奏されます。狼谷を表す不気味な音楽からテンポを速めて主部に移り、マックスの絶望のアリアに基づく激しい主題と、アガーテの歓喜の歌に基づく優しい主題を軸に進行。悪と善が対立・葛藤するかのように展開され、ひと呼吸置かれた後の堂々たる終結部で愛の勝利が謳い上げられます。

歌劇『タンホイザー』のエッセンスを味わう序曲

締めくくりは、ワーグナーの歌劇『タンホイザー』序曲です。歌劇自体は、1845年に完成され、ドレスデンで初演された比較的初期の作品。長大で音が途切れない楽劇に比べて一般的なオペラに近い構成ゆえに広く親しまれています。13世紀初めのチューリングゲンを舞台にした全3幕の本編は、「愛欲の女神ヴェーヌスの虜になった騎士で吟遊詩人のタンホイザーは、女神の世界ヴェーヌスベルクから元の世界に戻り、歌合戦で官能を賛美する。輦轡を買った彼は、ローマへの懺悔の旅でも許されないが、乙女エリーザベトの身を犠牲にした祈りによって救済される」といったお話。官能的悦楽とキリスト教的禁欲の両世界の対比を通して愛の根源を探る内容です。

序曲はこれも、本編の主題や動機を用いてオペラ全体を集約した音楽。敬虔な「巡礼の合唱」を主体とした音楽が、官能的なヴェーヌスベルクの音楽を挟む形をとっています。最初にホルンなどによる「巡礼の合唱」の主題、続いてチェロによる「悔恨の動機」が登場。次第に力を増します。テンポを速めてヴェーヌスベルクの部分に入ると、「歓楽の動機」「ヴェーヌス賛歌」を中心にした賑やかな音楽が展開。やがて「巡礼の合唱」の主題が戻り、金管楽器を中心とした壮麗なクライマックスが形成されます。

しばた・かつひこ（音楽ライター）／音楽マネージメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」（朝日新書）。

第86回

休日の午後のコンサート

11.22(日)14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
 Sun. Nov 22, 2020, 14:00 Start at Tokyo Opera City Concert Hall

<夢見る日々～いい夫婦の日～> “Dreams Are Better For Two”

指揮とお話 円光寺雅彦 Masahiko Enkoji, conductor & speaker

ソプラノ 市原 愛* Ai Ichihara, soprano

コンサートマスター 依田真宣 Masanobu Yoda, concertmaster

メンデルスゾーン：劇音楽『真夏の夜の夢』Op. 61より「結婚行進曲」(約5分)
 Mendelssohn: Wedding March from "A Midsummer Night's Dream" Op. 61 (ca. 5 min)

J.S.バッハ=グノー：アヴェ・マリア* (約3分)
 J. S. Bach / Gounod: Ave Maria (ca. 3 min)

J.S.バッハ：G線上のアリア (約5分)
 J. S. Bach: Air on the G String (ca. 5 min)

マスカーニ：歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』より間奏曲 (約4分)
 Mascagni: Intermezzo from opera "Cavalleria Rusticana" (ca. 4 min)

ヘンデル：歌劇『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」* (約4分)
 Handel: Ombra mai fu from opera "Serse" HWV 40 (ca. 4 min)

ベルリオズ：劇物語『ファウストの劫罰』Op. 24より「ラコッツィ行進曲」(約6分)
 Berlioz: Rákóczi March from opera "La Damnation De Faust" Op. 24 (ca. 6 min)

ヴォルフ=フェラーリ：歌劇『マドンナの宝石』より間奏曲 (約5分)
 Wolf-Ferrari: Intermezzo from opera "The Jewels of the Madonna" (ca. 5 min)

ベルリオズ：幻想交響曲 Op. 14より第4楽章、第5楽章 (約18分)
 Berlioz: The 4th & 5th movements from Symphonie fantastique, Op. 14 (ca. 18 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）| 独立行政法人 日本芸術文化振興会
 Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra
 Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council



※本公演においては公演中もご入退場いただけます。再入場・途中入場の際には入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※お帰り際には、<ご来場者のご氏名・ご住所・電話連絡先>をご記入いただいた入場券はがきをロビーの回収箱に投函してお帰りにください。ご協力をお願い申し上げます。

- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please write your name/address/phone number in the permission post card, and post it in the collection box in the lobby before you leave the concert. We would sincerely appreciate your cooperation.

出演者プロフィール

指揮とお話 円光寺雅彦

Masahiko Enkoji, conductor & speaker

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を齋藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スウィトナー氏に師事。1981年に帰国後、東京フィル副指揮者に就任。1986年より1991年まで同団指揮者を務める。1989年より1999年まで仙台フィル常任指揮者としてオーケストラの飛躍的な発展に貢献、その功績は高く評価されている。東京特別公演のライブをはじめ、仙台フィルとの演奏は多数CD化されており、その演奏からも両者の密接な関係を窺うことができる。1998年より2001年まで正指揮者を務めた札幌交響楽団との取り組みは、2000年に東京公演を指揮し好評を博すなど高く評価され、2011年から2019年3月まで名古屋フィル正指揮者としても数多くの名演を共にしてきた。

NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、新日本フィル、大阪フィル、広島交響楽団をはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外では1992年プラハ交響楽団定期演奏会をはじめ、1994年BBCウェールズ交響楽団、1995年にはベルゲン・フィル、1998年1月にはフランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と適確な指揮で多くの聴衆を魅了してきた。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。



©K.Miura

ソプラノ 市原 愛

Ai Ichihara, Soprano

東京藝術大学を経てミュンヘン国立音楽大学大学院に学び、その後ドイツを中心に欧州各地の歌劇場やオーケストラに客演。国内ではアンドレア・パッティストーニ指揮東京フィルをはじめ、2013年トリノ王立歌劇場日本公演でヴェルディ「仮面舞踏会」オスカル役、15年錦織健プロデュース・オペラVol.6「後宮からの逃走(モーツァルト)」全国ツアーでブロンデ役、17年クリストフ・エッセンバツハ指揮NHK交響楽団第九、18年パーヴォ・ヤルヴィ指揮同楽団定期演奏会などに出演。19年2月には、フィルハーモニー・ド・パリ(フランス)で行われた「久石譲 シンフォニック・コンサート」のソリストを務め、その歌唱力で聴衆を魅了。「NHK ニューイヤーオペラ」や「題名のない音楽会」などメディアにも多数出演。



©Takayuki Yoshida

プログラム・ノート

解説＝柴田 克彦

マエストロ円光寺が描く愛と夢の音楽世界

本日11月22日は「いい夫婦の日」。それにちなんで今回の「休日の午後のコンサート」のテーマは〈夢見る日々～いい夫婦の日～〉となっています。これは10月の「平日の午後のコンサート」の〈夢見る頃を過ぎても〉から続くテーマで、今度は「夢見る」^{さなか}最中がイメージされているといえるでしょう。

とはいえ、「夢見る日々」の思いは様々。プログラムも、前半こそ「結婚行進曲」で始まり、ピュアな心持ちを噛みしめるような作品が続きますが、後半は、思いを寄せる女性への情熱に突き動かされたベルリオーズの作品をはじめとする、ドラマティックな音楽が並んでいます。

指揮は、昨年12月の「休日&渋谷の午後のコンサート」でチェロの山崎伸子との“夫婦共演”を果たした円光寺雅彦。このテーマにまさしく相応しいマエストロが描き、清澄な歌声のソプラノ・市原愛が美しい花を添える今回は、音楽が表す様々な愛の形や夢見る思いを、じっくりと味わうことにしましょう。



マエストロが様々な愛の形や夢見る思いを音楽で描き出します

©上野隆文

11/22

休日の
午後の
コンサート

おなじみ「結婚行進曲」で華やかな幕開け



ドイツ初期ロマン派の牽引者**フェリックス・メンデルスゾーン**(1809-1847)の**劇付随音楽『真夏の夜の夢』**より「結婚行進曲」で、華やかに幕を開けます。「真夏の夜の夢」は、夏至の頃、聖ヨハネ祭前夜に起きる不思議な出来事を描いたシェイクスピア作の戯曲。人間たちの恋愛に、森の妖精の王オベロンやいたずら好きの妖精バックなどを絡めた、幻想的な喜劇です。メンデルスゾーンの作品は、1843年に書かれたその付随音楽で、ご存じ「結婚行進曲」は、二組の恋人が結婚式をあげる第5幕への前奏曲。トランペットの導入に続いて壮麗な音楽が展開され、優雅な中間部が挟まれます。

清澄な美しい旋律に浸る名曲を市原愛の歌声とともに

ここから4曲は清澄なナンバーが続きます。まずは、ドイツ・バロック音楽の巨匠**ヨハン・セバスティアン・バッハ**(1685-



1750)と、フランス・ロマン派の代表格**シャルル・グノー**(1818-1893)の音楽が合体した「**アヴェ・マリア**」。古今の同名曲の代表格です。1850年代に書かれたこの曲は、バッハの『平均率クラヴィーア曲集』第1集第1曲の前奏曲の上に、「めでたしマリア、恵み溢れるひと」の定番歌詞を持つグノー作の旋律を乗せた作品。バッハのシンプルな分散和音と自身の瞑想的な旋律を調和させたグノーのセンスが光っています。

おつぎは、**J.S.バッハ**の「**G線上のアリア**」。本来は、バッハが1730年頃に書いたとされる『管弦楽組曲第3番』全5曲の第2曲「エア」(アリア=歌)を、19世紀後半の大ヴァイオリニスト、アウグスト・ヴィルヘルミが、ヴァイオリンの最低弦のG線だけで演奏するように編曲した音楽ですが、その後あらゆる形で愛されています。ゆったりと歩を刻むベースラインの上でしみじみとした旋律が流れ、内声部が味わいを加えます。

心を癒す清らかな旋律、透明感あふれるアリア



かわって、イタリアのオペラ作曲家**ピエトロ・マスカーニ** (1863-1945) の歌劇『**カヴァレリア・ルスティカーナ**』より**間奏曲**。1890年に初演された本作は、現実的な事件を描いた「ヴェリズモ・オペラ」の開拓者マスカーニの出世作で、タイトルは「田舎の騎士道」を意味しています。シチリア島を舞台にした全1幕の物語は、4人の男女の恋と嫉妬がもたらす悲劇。間奏曲は、物語後半の教会のミサの最中に演奏され、舞台を鎮めながら転換する役目を果たしています。曲は、ヴァイオリンの清らかな旋律で開始後、哀切さの中に力を秘めた音楽が続き、静かに終わります。

続いては、同年生まれのバッハと並ぶドイツ・バロック音楽の大家（だがイギリスに帰化した）**ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル** (1685-1759) の歌劇『**セルセ**』より「**オンブラ・マイ・フ**」。1738年に初演された当歌劇の第1幕で、古代ペルシア王セルセが歌う透明感に溢れたアリアです。歌詞は「お前ほどいしく優雅で美しいものはなかった」とプラタナスの木陰（の安らぎ）に感謝する内容。日本ではかなり前にキャスリーン・バトルが歌う洋酒のCMで有名になりました。ちなみにこのオペラ、セルセ王の恋を巡る喜劇なのが意外なところですよ。



躍動的なベルリオーズの行進曲から、甘い美旋律の間奏曲へ

今度は、フランス・ロマン派の革新的作曲家**エクトール・ベルリオーズ** (1803-1869) の**劇物語『ファウストの劫罰』**より「**ラコッツィ行進曲**」。1846年に初演された本作は、ドイツの文豪ゲーテの戯曲「ファウスト」に基づく音楽劇で、声楽を伴う全4部・20景の大作です。その中で最も知られているのが、劇中では「ハンガリー行進曲」と題されたこの曲。悪魔に魂を売ったファウスト博士がハンガリーの草原に立つ第1部（原作にはない部分）の最後、ハンガリーの軍隊が行進する場面で演奏されます。「ラコッツィ行進曲」の別称は、18世紀ハンガリー独立運動の指導者ラコッツィにちなむ同国の楽曲から主題が採られたことに拠るもの。曲は、金管楽器のファンファーレからリズムカルな主題を中心とした主部に移り、劇



的な中間部を挟んで、壮大な盛り上がりを見せます。

つぎに演奏されるのは、近代イタリアの作曲家エルマンノ・ヴォルフ＝フェラーリ(1876-1948)の歌劇『マドンナの宝石』より間奏曲。1911年に初演された本編は、「義妹マリエラに恋心を抱く鍛冶屋の青年ジェナロが、彼女のために聖母の宝石を盗み出すも、マリエラは盗賊の首領のもとに走り、ジェナロは自殺する」といった陰惨な物語ですが、この第2幕への間奏曲は極めて美しく、古くから人気を得て来ました。曲は、甘く感傷的な旋律が切々と歌われる主部に、オーボエが活躍する中間部が挟まれます。

過剰な恋心が反映されたベルリオーズの激しい音楽

締めくくりは、ベルリオーズの『幻想交響曲』より第4楽章、第5楽章。作曲者最初の成功作にして交響曲の歴史を変えた作品です。1827年、パリ音楽院在学中の彼は、イギリスから来たシェイクスピア劇団の女優ハリエット・スミッソンに熱烈な恋心を抱き、無謀にも求愛して失恋します。そしてその恨みを込める形で、1830年に本作を作曲しました。なお後に彼は恋を成就してスミッソンと結婚しますが、不幸な結果に終わっています。曲は、「失恋した芸術家がアヘンで自殺を図るも死に至らず、昏睡状態の中で奇怪な幻想を見る。その中で恋人はいつも決まった旋律として現われる」といった全体の標題、及び楽章ごとの標題をもっています。こうしたストーリーを交響曲にした点、一定の旋律が全楽章に登場する「固定楽想」のアイディア、前代未聞の多彩な楽器法……など、ベートーヴェンの死の僅か3年後の作とは思えぬほど斬新さに溢れています。今回は全5楽章の内、激しい音楽が続く最後の2楽章が演奏されます。

第4楽章「断頭台への行進」：荒々しい行進曲。恋人を殺してしまった芸術家は死刑となり、刑場に引かれていきます。最後に恋人のテーマがクラリネットで吹かれ、すぐにギロチンの刃が下ります。

第5楽章「ワルプルギスの夜の夢」：芸術家の埋葬に魔女や妖怪たちが宴を開きます。恋人のテーマが小クラリネットで下品に表現され、グレゴリオ聖歌「怒りの日」が2台のテューバと舞台裏の鐘で奏された後、激しく盛り上がっていきます。

しばた・かつひこ（音楽ライター）／詳細は8ページをご覧ください。

第8回

渋谷の午後のコンサート

11.25(水) 12:00公演 / 15:00公演 Bunkamura オーチャードホール

Wed. Nov 25, 2020, 12:00 Start / 15:00 Start at Bunkamura Orchard Hall

<あの名曲アルバム> “The Album of Masterpieces”

指揮とお話 円光寺雅彦 Masahiko Enkoji, conductor & speaker

ピアノ 清塚信也* Shinya Kiyozuka, piano

コンサートマスター 依田真直 Masanobu Yoda, concertmaster

ベルリオーズ：劇的物語『ファウストの劫罰』Op. 24より
「ラコッツィ行進曲」(約6分)

Berlioz: Rákóczi March from opera "La Damnation De Faust" Op. 24 (ca. 6 min)

ヴォルフ＝フェラーリ：歌劇『マドンナの宝石』より間奏曲(約5分)

Wolf-Ferrari: Intermezzo from opera "The Jewels of the Madonna" (ca. 5 min)

ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー* (約18分)

Gershwin: Rhapsody in Blue (ca. 18 min)

ポンキエリ：歌劇『ラ・ジョコンダ』より「時の踊り」(約10分)

Ponchielli: Dance of the Hours from opera "La Gioconda" (ca. 10 min)

ベルリオーズ：幻想交響曲 Op. 14より 第4楽章、第5楽章(約18分)

Berlioz: The 4th & 5th movements from Symphonie fantastique, Op. 14 (ca. 18 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業） | 独立行政法人 日本芸術文化振興会

協力：Bunkamura

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council

In Association with Bunkamura



※本公演においては公演中もご入退場いただけます。再入場・途中入場の際には入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※お帰り際には、<ご来場者のご氏名・ご住所・電話連絡先>をご記入いただいた入場券はがきをロビーの回収箱に投函してお帰りください。ご協力をお願い申し上げます。

- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please write your name/address/phone number in the permission post card, and post it in the collection box in the lobby before you leave the concert. We would sincerely appreciate your cooperation.

11/25

渋谷の
午後の「コンサート」

出演者プロフィール

指揮とお話 円光寺雅彦

Masahiko Enkoji, conductor & speaker

指揮者プロフィールは10ページをご参照ください。



©K.Miura

ピアノ 清塚信也

Shinya Kiyozuka, piano

5歳よりクラシックピアノの英才教育を受け、中村紘子、加藤伸佳、セルゲイ・ドレンスキーに師事。桐朋女子高等学校音楽科（共学）を首席で卒業後、モスクワ音楽院に留学。国内外のコンクールで数々の賞を受賞。人気ドラマ『のだめカンタービレ』にて玉木宏演じる「千秋真一」、映画『神童』では松山ケンイチ演じる「ワオ」の吹き替え演奏を担当し脚光を浴び、映画『さよならデュッシー』で俳優デビューする。映画『ボブラの秋』（主演：



本田望結）では音楽監督ならびに出演、TBS系 金曜ドラマ『コウノドリ』（2015）（2017）（主演：綾野剛）ではピアノテーマおよび監修を手掛けるほか、ライブハウスのマネージャー役として出演。映画『新宿スワン』（主演：綾野剛）や舞台『シラノ・ド・ベルジュラック』（主演：吉田鋼太郎）では劇中音楽を手掛けるなど、作曲家として活動の幅を広げるほか、近年では数々のTVバラエティ番組やラジオ番組に出演するなど、マルチピアニストとして活躍。

現在発売中の最新アルバム『SEEDING』では初のオリジナル・バンド曲に挑戦するなど新たな一面も見せつつ、2019年8月16日には邦人男性クラシック・ピアニストとしては史上初となる日本武道館での単独公演を開催。

プログラム・ノート

解説=飯尾洋一

名曲の数々で体感するオーケストラのゴージャスなサウンド

本日演奏されるのはベルリオーズ、ヴォルフ＝フェラーリ、ガーシュウィン、ポンキエッリの4人の作曲家による名曲集。もし作曲家や曲名になじみがなかったとしても、聴けばどこかで耳にしたことのあるという曲が多いのではないのでしょうか。特にヴォルフ＝フェラーリとポンキエッリの両作品は、作曲家の名前よりも曲そのもののほうが知られているかもしれません。ベルリオーズの作品からは2曲。いずれもオーケストラのゴージャスなサウンドを楽しめる名曲です。ガーシュウィンの「ラプソディ・イン・ブルー」では、鮮烈で華麗なピアノ・ソロが聴きどころ。シンフォニック・ジャズの大傑作です。

11/25

渋谷の
午後の「コンサート」

マエストロ円光寺と清塚信也さんは今年の「ニューイヤーコンサート2020」でも共演した名コンビ

ファウストが目にしたハンガリー兵たちの行進

ベルリオーズ：劇的物語『ファウストの劫罰』より「ラコッツィ行進曲」

フランスの作曲家**エクトル・ベルリオーズ**（1803-1869）は文学にも強い関心を抱いていました。ゲーテの「ファウスト」を読んで夢中になったベルリオーズは、ぜひこの物語を題材にした作品を書きたいと考えます。そして誕生したのが劇的物語『ファウストの劫罰』。独唱や合唱を必要とする2時間を超える大作です。



冒頭はハンガリーの平原の場面で始まります。遠くからハンガリーの兵隊がやってくる様子を眺める主人公ファウスト。ここでハンガリーの国民歌からメロディを借りた「ラコッツィ行進曲」が高らかに鳴り響きます。

と書くと、「あれ？ゲーテのファウストにハンガリーの場面なんて、あったかな？」と疑問を持つ方がいらっしゃるかもしれません。実はこの場面はベルリオーズの創作。ベルリオーズがハンガリーへ演奏旅行に赴いた際、一種のご当地名曲として「ラコッツィ行進曲」を演奏したところ、会場は熱狂の渦に。この体験が忘れがたく、ベルリオーズは『ファウストの劫罰』に無理やりハンガリーの場面を作って、「ラコッツィ行進曲」を挿入したのです。現在でも『ファウストの劫罰』といえ、まっさきに思い出すのは「ラコッツィ行進曲」。ベルリオーズの狙いはまんまと当たったと言えるでしょう。

画家を目指して留学して、作曲家になった才人

ヴォルフ＝フェラーリ：歌劇『マドンナの宝石』より間奏曲

エルマンノ・ヴォルフ＝フェラーリ（1876-1948）は20世紀前半に活躍したイタリアの作曲家。ヴェネツィアに生まれ、ドイツ人画家の父の影響もあって幼少より絵と音楽を学びました。当初、音楽は趣味の領域に留め、美術を学ぶためにミュンヘンに向かいますが、ミュンヘン音楽アカデミーに入学して音楽家への道を歩むことになりました。

主にオペラと器楽曲の分野に多数の作品を残し、イタリアよりもむしろドイツで高い評価を受けています。オペラ『マドンナの宝石』もイタリアに先んじてドイ

ツのベルリンで初演されました。現在ではオペラ本編が上演されることは稀ですが、この間奏曲は広く親しまれています。愁いを帯びた甘美なメロディが切々と奏でられます。

ジャズ? それともクラシック? アメリカ音楽の実験

ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー

ある日、ピリヤードに興じていた**ジョージ・ガーシュウィン** (1898-1937) は新聞記事で「アメリカ音楽の実験」と題されたコンサートが開かれることを知ります。記事には、この公演のためにガーシュウィンがジャズ風の新作協奏曲に取り組んでいると書かれていました。

えっ、そんなの聞いてないんだけど!? 寝耳に水のガーシュウィンは、あわてて公演主催者のポール・ホワイトマンに電話をかけます。本番まではわずか1か月余り。ホワイトマンに背中を押され、ガーシュウィンは懸命に作曲に取り組み、期日までに曲を仕上げました。作曲者のイメージは「アメリカの音楽的万華鏡」。公演当日は全23曲中の22番目に演奏され、長時間の公演に退屈していた聴衆たちの目を覚まさせたと言います。初演時にはジャズ・バンド向けの編成で演奏されましたが、後にグローフェがオーケストラ用に編曲しました。

冒頭のクラリネットのしゃくりあげるようなグリッサンドはこの曲のトレードマーク。実はこれは練習で奏者が気まぐれに吹いたものを作曲者が気に入って採用したのだとか。ジャズのスタイルを取り入れたピアノ・ソロが縦横無尽に活躍し、華麗な楽想が次々と登場します。



ひらひらと宙に舞うような軽やかなバレエ

ポンキエッリ：歌劇『ラ・ジョコンダ』より「時の踊り」

アミルカレ・ポンキエッリ (1834-1886) はヴェルディとプッチーニの間の世代にあたるイタリアのオペラ作曲家。ヴィクトル・ユーゴーの戯曲にもとづく恋愛悲劇オペラ『ラ・ジョコンダ』で大成功を収めました。

現在では『ラ・ジョコンダ』は人気作とは言えませんが、第3幕のバレエ音楽「時の踊り」は、よく単独で取り上げられます。この曲の人気を一躍押し上げた

のは1940年公開のディズニーの名作アニメーション映画「ファンタジア」。ダチョウ、カバ、ゾウ、ワニたちのコミカルなパレエ・シーンが音楽に添えられました。

羽がひらひらと宙に舞うような軽やかなメロディが印象的です。ナンシー・シナトラの「レモンのキス」や小柳ゆきの「Lovin' You」など、ポピュラー・ミュージックでのカバー例も多数。テレビCMでもよく使用されます。

フラれた男の妄想が大爆発！

ベルリオーズ：幻想交響曲より第4楽章、第5楽章

文学好きの**ベルリオーズ**は、イギリスの劇団によるシェイクスピアの「ハムレット」を観て大感激しました。そして主演女優スミソンこそ理想のヒロインだと思い込み、恋に落ちてしまいます。しかし、当時まだ売れない作曲家だったベルリオーズのことなど、スミソンは歯牙にもかけません。

執拗に彼女を追いかけて続けたベルリオーズですが、やがて想いが叶わないとわかると、恋の苦しみを芸術へと昇華させます。『幻想交響曲』の副題は「ある芸術家の生涯からのエピソード」。モデルは自分自身です。感受性の鋭い芸術家が失恋してアヘンで服毒自殺を図るも死に切れず、奇怪な幻覚を見る。そこで芸術家は恋人を殺してしまい、殺人の罪でギロチンにかけられる……。そんなストーリーが交響曲で表現されています（現実には後年、ふたりは再会して結婚してしまうのですが！）。

第4楽章「断頭台への行進」では、恋人を殺した芸術家がギロチンにかけられます。**第5楽章は「ワルプルギスの夜の夢」**。魔女の夜宴に醜い姿へ変わり果てた恋人が招かれ、乱痴気騒ぎの末に壮絶なクライマックスを迎えます。

いいお・よういち（音楽ジャーナリスト）／著書に『クラシック音楽のトリセツ』（SB新書）、『R40のクラシック』（廣済堂新書）、『マンガで教養 やさしいクラシック』監修（朝日新聞出版）他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

次回の 今後のコンサート。

休日

2021年1月11日(月・祝)
第87回 休日の午後のコンサート
〈夢のつづき〉

指揮とお話：三ツ橋敬子

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より「モルダウ」
J. シュトラウスⅡ／トリッチ・トラッチ・ポルカ
ドヴォルザーク／交響曲第9番『新世界より』より
第4楽章



©大杉準平

三ツ橋敬子 東京藝術大学及び同大学院を修了。第10回 A.ペドロッチェ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回 A.トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2011年には、TBS系列ドキュメンタリー番組「情熱大陸」に取り上げられた。

2021シーズン 今後のコンサート。 ラインナップのご案内



イラスト：ハラダチエ
Chie Harada

2021シーズンの「渋谷／平日／休日
の午後のコンサート」3シリーズのライン
ナップを発表いたしました！ 今シーズン
セット券をご購入いただいたお客様には、
一般発売に先立って継続のご案内をお送
りいたします。

2021シーズンも、名曲と楽しいお話で
充実の午後のひとときをお届けします。

※一般発売日は後日お知らせいたします。

チケットのご案内

券種	4回セット券	東京フィルフレンズ (無料会員)	1回券
S席	¥20,520(¥5,130)	¥18,468(¥4,617)	¥5,700
A席	¥16,560(¥4,140)	¥14,904(¥3,726)	¥4,600
B席	¥11,160(¥2,790)	¥10,044(¥2,511)	¥3,100
C席	¥8,400(¥2,100)	¥7,560(¥1,890)	¥2,100

問合せ

東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522

(平日10時～18時・土日祝休)

URL www.tpo.or.jp/

日程・出演者の詳細は次ページをご覧ください。



News & Information

オーボエ首席奏者 加瀬孝宏のソロCD 『エモーショナル・オーボエ』が発売されました。

「僕自身2枚目のアルバムが9月30日に発売となりました。『エモーショナル・オーボエ』というタイトル通り、心揺さぶられるような楽曲を集めてみました。是非お聴きください!」

出演 加瀬孝宏(オーボエ、東京フィルハーモニー交響楽団首席)
大野真由子(ピアノ、東京藝術大学講師)
神田勇哉(フルート、東京フィルハーモニー交響楽団首席)

曲目 ドリング：フルート、オーボエ、ピアノのためのトリオ
ドヴォルザーク：ソナチネop100 ほか

価格 3,300円(税込)
品番 ティートックレコーズ[TTOC0043]



第1ヴァイオリン 津田好美が8月末をもって定年退職いたしました。

「8月末日をもちまして東京フィルを退職いたしました。

1980年4月、A.クワドリ氏指揮の下、東敦子さんのリサイタルが初めての仕事でしたが、以来、様々なコンサート、オペラ、バレエ等の演奏をして40年の月日経ちました。それらのひとつひとつが私のオーケストラ人生を彩ってくれています。

今年はコロナ禍により、音楽が全く出来ない辛い時間がありました。当たり前であるという幸せに感謝を忘れずにいたいと思います。

東京フィルは楽員がとても仲の良いオーケストラです。ひとりひとりのその温かさが美しい音、ハーモニーとなって、皆様に幸せな時間を届けられることを心より願っております。

長い間本当にありがとうございました」。



Photo Reports 2020シーズンのステージより

撮影＝上野隆文／三浦興一／三好英輔／寺司正彦(掲載順)

1月定期演奏会 (1/23,24,26)

指揮：アンドレア・バッティストーニ
(東京フィル首席指揮者)

ピアノ：阪田知樹*

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第3番*

ベルリオーズ／幻想交響曲

写真＝上野隆文



2月定期演奏会 (2/19,21,23)

指揮：チョン・ミョンフン
(東京フィル名誉音楽監督)

カルメン：マリーナ・コンパラート

ドン・ホセ：キム・アルフレード 他

合唱：新国立劇場合唱団、児童合唱：杉並児童合唱団
ビゼー／歌劇『カルメン』(演奏会形式)

写真＝上野隆文



新型コロナウイルス感染症の感染拡大により3月定期演奏会は延期、4月の定期演奏会、4月・6月の「午後のコンサート」は中止となりました。6月定期演奏会より、当初予定の演目・出演者を変更しながらではありますが、お客様をお招きしての公演を再開いたしました。再配席や感染対策など様々なお願いをさせていただきましたが、皆様の深いご理解のもと、チケット払戻の辞退やご寄附、各方面へのオーケストラ支援の呼びかけなどの形で、多大なるお力添えを賜りましたことを心より御礼申し上げます。

6月定期演奏会 (6/21,22,24)

指揮：渡邊一正
(東京フィル レジデント・コンダクター)

ロッシーニ／歌劇『セビリアの理髪師』序曲

ドヴォルザーク／交響曲第9番『新世界より』

写真＝三浦興一

※当初出演を予定していたミハイル・プレトニョフの来日が不可能になったことにより指揮者・演目を変更して開催しました



7月定期演奏会 (7/15, 17, 19)

指揮：佐渡 裕

ベートーヴェン／

序曲『コリオラン』、交響曲第7番

写真＝上野隆文

※当初出演を予定していたチョン・ミョンフンの来日が不可能になったことにより指揮者・演目を変更して開催しました



マエストロ尾高は7月の「休日の午後のコンサート」(7/23)にも登場

「午後のコンサート。」シリーズより

7月2日の「渋谷の午後のコンサート」から、午後のコンサートシリーズも公演を再開。お客様と出演者の安全を確保しつつ、名曲と楽しいお話をお届けしています。

7月2日(木)

第6回 渋谷の午後のコンサート

〈第2の国歌を知っていますか?〉

指揮とお話：尾高忠明

ピアノ：高木竜馬*

写真＝三好英輔



8月4日(火)

第19回 平日の午後のコンサート

〈250 オのベートーヴェン〉

指揮とお話：小林研一郎

ナビゲーター：田添菜穂子

ベートーヴェン／劇音楽『エグモント』序曲、

交響曲第7番 他

写真＝寺司正彦 他

※当初出演を予定していたアンドレア・パッティストーニの来日が不可能になったことにより指揮者・演目を変更して開催しました



マエストロ小林研一郎は、9月の「午後のコンサート」でも、「休日(9/6)」「渋谷(9/8)」で円熟のベートーヴェンと楽しいお話を聴かせてくれました



9月定期演奏会 (9/25, 27, 29)

指揮：渡邊一正

(東京フィルレジデント・コンダクター)

ドヴォルザーク／

序曲『謝肉祭』、交響曲第8番

※当初出演を予定していたアンドレア・パッティストーニの来日が不可能になったことにより指揮者・演目を変更して開催しました

TO THE NEXT STAGE... 2021 シーズンもどうぞお楽しみに!

演奏会場の感染対策について

演奏会の再開にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大予防のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じております。 写真＝三浦興一



入場前の手指消毒、間をあけて整列のお願い



入場券(座席番号はがき)の目視確認と、サーモグラフィカメラ等での検温を行っています



ソーシャルディスタンスによる再配席を行い、入場券(座席番号はがき)にご来場者様の連絡先を記入いただき、終演後に回収しております。ご連絡先は公演後1か月間、厳重に保管の後、焼却処分いたします。防疫上の目的以外には使用いたしません。

ロビーの混雑を避けるため、ご来場前にご記入をいただけますと幸いです。

7月定期演奏会では、東京医療保健大学 感染制御学教授 菅原えりさ先生にご来場いただき、会場の対策についてご視察をいただきました。菅原先生のコメントをご紹介します。

「Withコロナの時代。演奏会場でオーケストラを楽しむために、マスク着用の徹底、入館時の手指消毒、お客様同士距離を置く対策。いわゆる「3密」回避と基本的感染対策は、主催者も、楽団員スタッフも、そして、お客様も、当たり前のことになってきています。東京フィルは、政府が発出したガイドラインを元に、お客様を安全にお迎えするため、できる限りの対策を講じております。

今、地球上どこにも「ゼロリスク」はありません。しかし、信頼できる知識を得、適切な行動を取れば、幸せな時間を取り戻すことはできます。

どうぞ皆さま、素晴らしい音楽をお楽しみください。」(菅原)

ご支援の御礼とお願い

今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2月下旬より東京フィルが出演する演奏会の全てが中止・延期となりました。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。そのような中、たくさんの励ましのお言葉とともに、中止公演のチケット払戻し辞退によるご寄附や、銀行振込等による温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。

今後の演奏会も、感染症拡大防止の観点から、当面の間はチケットの販売数等、規模を縮小しての開催が見込まれております。

皆様のご寄附が大きな力となります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけますと幸いです。1万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（本冊子31ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行 (郵便振替)	00120-2-30370	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
三井住友銀行・ 東京公務部(096)	普通預金 3003239	

※ 寄附金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項を記入して、下記送付先へご送付ください。寄附申込書の書式については、下記ウェブサイトまたは問合せ先へご照会ください。

寄附申込書のダウンロードはこちらから

https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【寄附申込書 送付先／お問合せ】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521 (土日祝日を除く10時～18時)

紅葉の候、時下いっそうご壮健のこととお喜び申し上げます。
 日々深まる美しい季節に思いを馳せられるような、
 雄大な響きをお楽しみください。
 引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史



賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、
 法人並びに個人(パートナー会員)の皆様のご寄附により支えていただいております。
 ここにそのご芳名を掲げ、改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー (敬称略)

ソニー株式会社	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員 (五十音順・敬称略)

(株)IHI	代表取締役社長 井出 博	(株)インターテキスト	代表取締役 海野 裕
(株)アイエムエス	取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株)	代表取締役社長 片野坂 真哉
相澤内科医院	理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ	代表取締役社長 安齋 尚志
アイシステム(株)	代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	桜美林大学	総長 佐藤 東洋士
(株)アシックス	代表取締役会長CEO 尾山 基	大塚化学(株)	特別相談役 大塚 雄二郎

(株) オーディオテクニカ	代表取締役社長	松下 和雄
(公財) オリックス宮内財団	代表理事	宮内 義彦
花王(株)	代表取締役 社長執行役員	澤田 道隆
カシオ計算機(株)	代表取締役社長	樫尾 和宏
キャンノン(株)	代表取締役会長兼社長 CEO	御手洗 富士夫
(株) グリーンハウス	代表取締役社長	田沼 千秋
(株) ケイブ	取締役会長	高野 健一
(医) 浩仁会 矢田眼科医院	理事長	矢田 浩二
コスモエネルギーホールディングス(株)	代表取締役社長 社長執行役員	桐山 浩
サントリーホールディングス(株)	代表取締役社長	新浪 剛史
信金中央金庫	理事長	柴田 弘之
新興和製薬(株)	代表取締役	田中 めぐみ
新菱冷熱工業(株)	代表取締役社長	加賀美 猛
(株) J.Y.PLANNING	代表取締役	遅澤 准
(株) 滋慶	代表取締役社長	田仲 豊徳
(株) ジーヴァエナジー	代表取締役社長	金田 直己
ジューテックホールディングス(株)	代表取締役会長	足立 建一郎
菅波楽器(株)	代表取締役社長	菅波 康郎
相互物産(株)	代表取締役会長	小澤 勉
ソニー(株)	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
ソニー生命保険(株)	代表取締役社長	萩本 友男
(株) ソニーミュージックエンタテインメント	代表取締役社長CEO	村松 俊亮
(株) 大丸松坂屋百貨店	代表取締役社長	澤田 太郎
高砂熱学工業(株)	代表取締役社長	小島 和人
(株) タクト	代表取締役	苗代 政治
都築学園グループ	総長	都築 仁子

(株) テクノスジャパン	代表取締役社長	吉岡 隆
東急(株)	取締役社長	高橋 和夫
東京オペラシティビル(株)	代表取締役社長	三和 千之
東レ(株)	代表取締役社長	日覺 昭廣
トッパン・フォームズ(株)	代表取締役社長	坂田 甲一
トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	豊田 章男
DOWAホールディングス(株)	代表取締役社長	関口 明
(株) ニチケアパレス	代表取締役	齊藤 正俊
(株) ニフコ	代表取締役社長	山本 利行
日本ライフライン(株)	代表取締役社長	鈴木 啓介
(株) パラダイスインターナショナル	代表取締役	新井 秀之
富士電機(株)	代表取締役社長	北澤 通宏
(株) 不二家	代表取締役社長	河村 宣行
(株) プライムステーション	代表取締役	浅田 亨
丸紅(株)	取締役会長	國分 文也
(株) 三井住友銀行	頭取CEO	高島 誠
三菱商事(株)	代表取締役社長	垣内 威彦
三菱倉庫(株)	相談役	宮崎 毅
(株) 三菱UFJ銀行	特別顧問	小山田 隆
(株) 明治	代表取締役社長	松田 克也
森ビル(株)	代表取締役社長	辻 慎吾
ヤマトホールディングス(株)	代表取締役社長	長尾 裕
(株) 山野楽器	代表取締役社長	山野 政彦
ユニオンツール(株)	代表取締役会長	片山 貴雄
楽天(株)	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
(株) リソー教育	取締役会長	岩佐 実次

後援会員

欧文印刷(株)	代表取締役社長	和田 美佐雄
(有) オルテンシア	代表取締役	雨宮 睦美
(医) カリタス菊山医院	理事長	加藤 徹
(株) 京王エージェンシー	代表取締役社長	岡村 達矢
(医) だて内科クリニック	理事長	伊達 太郎
(宗) 東京大仏・乗蓮寺	代表役員	若林 隆壽
(一社) 凸版印刷三幸会	代表理事	足立 直樹

(株) 日税ビジネスサービス	代表取締役会長兼社長	吉田 雅俊
富士通(株)	代表取締役社長	時田 隆仁
本田技研工業(株)	代表取締役社長	八郷 隆弘
三菱地所(株)	執行役社長	吉田 淳一
三菱重工業(株)	取締役社長	泉澤 清次
三菱電機(株)	執行役社長	杉山 武史

ご支援のお願い

2020年3月、東京フィルハーモニー交響楽団は創立109年を迎えました。

1月に新シーズン開幕を迎えた東京フィルは、1月から12月までの一年を通じて、皆様の暮らしと共に響きあう音楽をお届けし、心豊かな社会へと繋ぐ役割を担います。また、定期演奏会や「午後のコンサート」、特別演奏会や提携都市公演ほか多様な音楽活動を通して、国際的に活躍する演奏家や将来を嘱望された若手演奏家らと共に様々な作品に取り組み、より広く多くの皆様にオーケストラの価値を認知いただけるよう尽力いたします。そして、日本の芸術文化発展に寄与すべく、多様化するグローバルな社会において文化交流の架け橋となるよう、より一層努めてまいります。

是非とも皆様方からお力添えを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

ご寄附会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライザー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラブノディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリユード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「賛助会デスク」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 (担当: 星野^{かのまた}鹿文)

電話: 03-5353-9521 (平日10時~18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

レジデント・コンダクター
Resident Conductor

渡邊 一正
Kazumasa Watanabe

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

柄本 三津子☆
Mitsuko Tochimoto

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

戸上 真里◎
Mari Togami

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水島 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

山内 祐子☆
Yuko Yamanouchi

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

黒沢 誠登
Makoto Kurosawa

佐藤 実江子
Mieko Sato

高木 祐香
Yuuka Takagi

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔○
Daisuke Kato

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ
Cellos金木 博幸◎
Hiroyuki Kanaki服部 誠◎
Makoto Hattori渡邊 辰紀◎
Tatsuki Watanabe高麗 正史☆
Masashi Korai石川 剛
Go Ishikawa大内 麻央
Mao Ouchi太田 徹
Tetsu Ota菊池 武英
Takehide Kikuchi佐々木 良伸
Yoshinobu Sasaki長谷川 陽子
Yoko Hasegawa渡邊 文月
Fuzuki Watanabeコントラバス
Contrabasses片岡 夢児◎
Yumeji Kataoka黒木 岩寿◎
Iwahisa Kuroki小笠原 茅乃◎
Kayano Ogasawara遠藤 柊一郎
Shuichiro Endo岡本 義輝
Yoshiteru Okamoto小栗 亮太
Ryota Oguri熊谷 麻弥
Maya Kumagai菅原 政彦
Masahiko Sugawara田邊 朋美
Tomomi Tanabe中村 元優
Motomasa Nakamuraフルート
Flutes神田 勇哉◎
Yuya Kanda斉藤 和志◎
Kazushi Saito吉岡 アカリ◎
Akari Yoshikokaさかはし 矢波
Yanami Sakahashi下払 桐子
Kiriko Shimobara名雪 裕伸
Hironobu Nayukiオーボエ
Oboes荒川 文吉◎
Bunkichi Arakawa加瀬 孝宏◎
Takahiro Kase佐竹 正史◎
Masashi Satake杉本 真木
Maki Sugimoto三谷 真紀
Maki Mitani若林 沙弥香
Sayaka Wakabayashiクラリネット
Clarinetsチョ・スンホ◎
Sungcho Choアレッサンドロ・
ベヴェラリ◎
Alessandro Beverari万行 千秋◎
Chiaki Mangyo黒尾 文恵
Fumie Kuroo林 直樹
Naoki Hayashiファゴット
Bassoonsチェ・ヨンジン◎
Young-Jin Choe廣幡 敦子◎
Atsuko Hirohata井村 裕美
Hiromi Imura桔川 由美
Yumi Kikkawa森 純一
Junichi Moriホルン
Horns磯部 保彦◎
Yasuhiro Isobe齋藤 雄介◎
Yusuke Saito高橋 臣宜◎
Takanori Takahashi今井 彰
Akira Imai大東 周
Shu Ohigashi木村 俊介
Shunsuke Kimura田場 英子
Eiko Taba塚田 聡
Satoshi Tsukada豊田 万紀
Maki Toyoda古野 淳
Jun Furuno山内 研自
Kenji Yamanouchi山本 友宏
Tomohiro Yamamotoトランペット
Trumpets川田 修一◎
Shuichi Kawata野田 亮◎
Ryo Noda古田 俊博◎
Toshihiro Furuta重井 吉彦
Yoshihiko Shigei杉山 眞彦
Masahiko Sugiyama前田 寛人
Hirohito Maedaトロンボーン
Trombones五箇 正明◎
Masaaki Goka中西 和泉◎
Izumi Nakanishi辻 姫子◎
Himeko Tsuji石川 浩
Hiroshi Ishikawa平田 慎
Shin Hirata山内 正博
Masahiro Yamauchiテューバ
Tubas大塚 哲也
Tetsuya Otsuka荻野 晋
Shin Oginoティンパニ&
パーカッション
Timpani & Percussion岡部 亮登◎
Ryoto Okabe塩田 拓郎◎
Takuro Shiota高野 和彦◎
Kazuhiro Takano木村 達志
Tatsushi Kimura鷹野 香緒里
Kaori Takaba縄田 喜久子
Kikuko Nawata船迫 優子
Yuko Funasako古谷 はるみ
Harumi Furuyaハープ
Harps梶 彩乃
Ayano Kaji田島 緑
Midori Tajima宮原 真弓
Mayumi Miyaharaライブラリアン
Librarians武田 基樹
Motoki Takedaステージマネージャー
Stage Managers稲岡 宏司
Hiroshi Inaoka大田 淳志
Atsushi Ota古谷 寛
Hiroshi Furuya◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フォアシュペラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バットストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』などの放送演奏、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を得ている。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2011, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrated its 100th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>



©上野隆文

役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
	篠澤 恭助		鈴木 啓介
専務理事	田沼 千秋		瀬谷 博道
石丸 恭一	寺田 琢		日枝 久
	遠山 敦子		南 直哉
常務理事	野本 弘文		
工藤 真実	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	岡部 純	河野 啓子	佐野 恭一	長池 陽次郎	細洞 寛
池田 敏美	小樽 敦子	近藤 勉	清水 真佐子	長岡 愼	本田 詩子
糸井 正博	小山 智子	今野 芳雄	瀬尾 勝保	長倉 穰司	松澤 久美子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	齊藤 匠	高岩 紀子	新田 清枝	湊 貞男
岩崎 龍彦	加藤 明広	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	山屋 房子
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 正雄	竹林 良	野仲 啓之助	吉田 啓義
上野 眞行	金崎 真由美	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	玻名城 昌子	米倉 浩喜
生方 正好	川人 洋二	桜木 弘子	田中 千枝	福村 忠雄	脇屋 俊介
大兼久 輝宴	木村 友博	笹 翠	田村 武雄	藤原 勲	
大和田 皓	黒川 正三	佐々木 等	戸坂 恭毅	細川 克己	

〈発行日〉2020(令和2)年10月14日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉 劇) 欧文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



TOKYO PHILHARMONIC